

留学生とつくる「JLC-TUFS 災害対応マニュアル」

プロジェクト概要 2012.3.2

土屋順一、花菌悟、中井陽子、
宮城徹 tom@tufs.ac.jp

© T. Miyagi 2012

プロジェクトの流れ

- 2011年5月：プロジェクト立ち上げ、方向性の検討
「留学生の視点から防災マニュアルを見直そう」
- 6月：本学の震災対応の振り返り、修了生へのアンケート項目決定、メール発送
- (外部での協議会、シンポジウムなどに出席。他大学事例などの情報収集。)
- 9月：外部講師を招いて意見交換、アンケート集計
- 11月：メンバー出張報告、マニュアル作成活動に着手
- 現在も進行中
- 方向性の変化 「留学生と日本人学生の協働による【学び】」へ

発表の流れ

- 東日本大震災時にセンター修了生はどんな様子だったか(アンケート結果)：花菌悟
- 震災時の他大学と本学の取り組み姿勢について(留学生担当教員へのインタビューと文献調査)：中井陽子
- 本プロジェクトでの協働学習活動の概要(ただし課外活動の位置づけ)：ネディアルコヴァ・マルティナ、野中めぐみ、宮城徹
- 神戸大学でのより大きな協働学習活動の実際：ハリソン・リチャード